令和７年 建設業死亡災害事例

	月	業種	職種 年齢 経験	事故の型 起因物	発生状況の概要
１	１月	建築工事業	設備機械工 50歳代 30年以上	墜落、転落 エレベータ、リフト	立体駐車場において、地下に向かうため自動車垂直搬送用リフトに乗り下降したが、指定した階で停止しなかったため、緊急停止ボタンを押したところ、リフトが一時停止直後に上昇したため、自動車用パレットに飛び移ろうとしたが、リフトと当該パレットの隙間から墜落したもの。
２	１月	建築工事業	その他の作業者 20歳代 1年以上5年未満	墜落、転落 開口部	エレベーターシャフト開口部付近で、鉄板敷きの準備を行っていたところ、墜落し、死亡したもの。
３	４月	その他の建設業	電工 50歳代 30年以上	激突され 移動式クレーン	電柱工事に伴う電線及び変圧器の移設工事を行うため、貨物自動車の荷台に乗せた工事用変圧器１台を移動式クレーン（ウインチ付き高所作業車）を用いて吊り上げたところ、何らかの理由によりつり荷が落下し、玉掛作業を行った被災者にあたり、貨物自動車の荷台から墜落したもの。
４	５月	土木工事業	貨物自動車運転者 30歳代 1年以上5年未満	はさまれ、巻き込まれ 整地・運搬・積込み用機械	建設現場における請負業務として、コンテナ車に積載した産廃（木くず）を廃棄物処理施設へ運搬した被災者が、同施設構内で所定の場所に荷降ろしした後、荷台の扉を閉めようとした際に、バック走行してきたトラクター・ショベルによりコンテナ車との間に挟まれ死亡したもの。
５	５月	その他の建設業	機械修理工 40歳代 10年以上20年未満	はさまれ、巻き込まれ その他の食品加工用機械	冷凍機械の不具合を確認するため、稼働させながら点検を行っていたところ、下部の稼働部分とモーターの覆いの間に挟まれ死亡したもの。
６	６月	建築工事業	管理者 20歳代 1年未満	墜落・転落 開口部	地下工事中のビルの新築工事現場において、歩道区画用のカラーコーン等を片付ける作業中、作業構台の撤去後に開口部となっていた現場出入口ゲート付近の地面端部において、被災者は約９０センチメートル下の箇所にコーンバーを片付けようとしたところ、バランスを崩して約３メートル下の地下スラブ上に墜落し、死亡したもの。
７	６月	建築工事業	土工 50歳代 30年以上	墜落・転落 開口部	休憩時間中に、被災者が立っていた位置の背後にあった約９ｍ×約７．５ｍの開口部からその床面まで４．１ｍ墜落したもの。
８	６月	土木工事業	現場職員 40歳代 10年以上20年未満	はさまれ、巻き込まれ 掘削用機械	公共歩道の水道管取り替え工事現場において、公道上に貨物自動車２台を縦列駐車させていた際に、後ろ側の貨物自動車が、その真後ろで作業を行っていたドラグショベルに押されて前進したことで、同貨物自動車２台の間にいた被災者が挟まれたもの。
９	７月	建築工事業	とび工 30歳代 1年以上5年未満	墜落・転落 足場	ＲＣ造集合住宅新築工事において、被災者を含む作業員３名が躯体外部足場の解体作業を行っていたところ、被災者が枠組足場１６段目（高さ２７メートル）の足場床から地面に墜落したもの。
１０	７月	建築工事業	その他の作業者 10歳代 1年未満	高温・低温の物との接触 その他の床面、通路の状態	熱工法による屋上防水作業に従事していた被災者が、溶融アスファルト（約２２０度）が入った一斗缶を両手に持ち、移動させようとしたところ転倒し、こぼれた溶融アスファルトの上に倒れ、胴体及び上肢に火傷を負ったもの。

本表の災害は、東京労働局管内の事業場で令和７年に発生した建設業の主な死亡災害です。

令和７年 建設業死亡災害事例

	月	業種	職種 年齢 経験	事故の型 起因物	発生状況の概要
１１	７月	土木工事業	土工 60歳代 30年以上	崩壊、倒壊 地山、岩石	水道管取替工事において、水道管を敷設するための路面の掘削作業中、被災者が深さ約１．４メートルの掘削溝に立ち入り、土止め材の受け渡し作業を行っていたところ、法面の土砂が崩壊し、付近に植えられていた木が掘削溝内に倒れ、被災者が土砂及び倒木と反対側の壁面に挟まれたもの。
１２	９月	建築工事業	解体工 60歳代 10年以上20年未満	墜落、転落 その他の床面、通路の状態	被災者は、建屋の屋根に足場の控えを取り付ける穴を開けるために、組み立て途中の足場を通路として使用し屋根上に向けて移動していたところ、足場６層目から、高さ約８メートル下の地面に墜落したもの。
１３	10月	土木工事業	その他の作業者 50歳代 30年以上	交通事故（その他） その他の乗物	会社所有の船に乗り、中央区の停船所から江東区の貯木場に向かっている途中、対向から来た同社の船と衝突したもの。
１４	11月	建築工事業	土工 70歳代 10年以上20年未満	崩壊、倒壊 地山、岩石	建物工事において、地表から約３メートルの深さに残置された捨てコンクリートを撤去するために、ドラグ・ショベルを使用して掘削作業行い、捨てコンクリートのはつり作業を終え、ガラの回収作業を行っていた際に掘削面の一部が崩壊してほぼ全身が土砂に埋まり死亡したもの。
１５	11月	建築工事業	解体工 10歳代 1年未満	崩壊、倒壊 建築物、構築物	鉄骨造４階の解体工事現場において、３階のコンクリートブロック製内壁を、被災者が解体で生じたブロックの破片等の片付けの作業中に、当該壁が崩壊して、被災者が当該壁（高さ約２メートル×幅約３メートル×厚さ約０．１４メートル）の下敷きになり死亡したもの。
１６	12月	土木工事業	土工 40歳代 20年以上30年未満	崩壊、倒壊 地山、岩石	下水道管の入替工事で、土止め支保工の再設置の作業を行うにあたり、被災者は、深さ約３．９ｍの掘削した開口部内に立入った際、側壁の土砂が崩壊し、土砂に埋まり死亡したもの。
１７	12月	その他の建設業	電工 50歳代 20年以上30年未満	墜落・転落 階段、桟橋	被災者は、足場作業床からはしごを使用して下りようとしたところ、墜落し、死亡したもの。

本表の災害は、東京労働局管内の事業場で令和７年に発生した建設業の主な死亡災害です。